

平成27年版

佐賀県環境白書

環境白書の刊行にあたって

本県は、有明海と玄界灘という特性の異なる二つの海に面し、内陸部には緑豊かな山々、肥沃な平野が広がるなど、多彩な自然環境を織り成しています。

佐賀の自然、環境の豊かさは、県民の心を豊かなものにし、また、安らぎを与えてくれます。弥生人の声が聞こえるといわれる吉野ヶ里遺跡や陶磁器などの全国に誇れる佐賀の歴史や伝統ある産業は、この豊かな環境の中から生まれてきました。

一方、環境問題は、身近なごみの問題から地球温暖化をはじめとしたものまで広範多岐にわたっています。

また、平成23年3月の東日本大震災とこれに伴う原子力発電所事故等を契機に、環境施策全般についても「安全・安心」の観点から見直すことが課題となり、同年10月に「第2期佐賀県環境基本計画」を策定し、将来（10年程度先）を展望した佐賀県の目指す姿を実現するため、“みんなで創る 環境最先端県さが”を基本目標に、県民、事業者及びCSOの方々と一体となって、取組を行ってきました。

なお、平成28年3月には「第3期佐賀県環境基本計画」を策定し、さらに取組を推進していくこととしています。

この「平成27年版佐賀県環境白書」は、本県の環境の状況や県が実施した環境保全に関する施策について、平成26年度の内容を中心にまとめたものです。本書が県民の皆様の環境に対する理解を深め、恵み豊かな佐賀の環境を将来の世代にしっかりと引き継いでいくための具体的な行動の一助となれば幸いです。

平成28年3月

佐賀県くらし環境本部長 伊藤 正

平成27年版環境白書・目次

第1部 総説

第1章 佐賀県の概要	1
第2章 環境政策の指針	3
第3章 知ってもらいたい取り組み	5
第1節 微小粒子状物質(PM _{2.5})への取り組み	5
第2節 排出事業者等が行う排出抑制・減量化・リサイクルのための取組の支援	8

第2部 環境の現況と対策

第1章 地球環境の保全・再生可能エネルギー等の推進	9
第1節 地球温暖化防止、省資源・省エネルギーの推進	9
1 省資源・省エネルギー等を通じた低炭素社会の推進	11
2 森林整備等を通じた吸収源対策等の推進	16
3 地球温暖化対策に係る人材育成の推進	17
第2節 再生可能エネルギー等の推進	18
1 再生可能エネルギーの普及促進	18
第2章 安全・安心で快適な生活環境の保全	22
第1節 大気環境の保全	22
1 大気汚染防止対策	22
2 オゾン層保護・酸性雨対策	36
3 悪臭対策	37
4 騒音・振動対策	38
5 光害対策	47
第2節 水環境・土壌環境の保全	48
1 水環境の保全	48
2 土壌環境の保全	85
3 地盤環境の保全	85
第3節 玄海原子力発電所周辺環境安全対策	93
1 玄海原子力発電所周辺の環境放射能調査	93
2 温排水影響調査	99
第4節 化学物質等による環境リスクの低減に向けた取組	105
1 化学物質の適正管理・適正利用の推進	105
2 食品中の有害物質や残留農薬の調査の実施	111
第3章 循環型社会の実現	115
第1節 循環型社会の形成促進	115
1 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	115
2 地域循環圏の形成促進	120
第2節 環境関連・環境負荷の少ない産業の振興	121
1 農林水産業	121
2 第2次産業・第3次産業	124
第3節 安全・安心な廃棄物対策	126
1 廃棄物の現況	126
2 適正処理の推進	132
第4章 多様な自然環境の保全	137

第1節 生物多様性の保全・活用～生物多様性佐賀県戦略～	137
1 現況	137
2 施策の方向	139
第2節 鳥獣の保護	150
1 現況	150
2 対策	150
第3節 有明海の再生	153
1 現況	153
2 主な施策	154
第5章 豊かな自然資産・文化的資産を活用した地域活性化	158
1 自然資産・文化的資産を活かした観光振興	158
2 地域資源を活かした都市農村交流の推進	159
3 地域の特色や資源を活かした新しい地域の魅力づくり	160
4 フィルムコミッション等の推進	161
第6章 環境を考へて行動する人づくり	162
第1節 環境教育・環境学習等の推進	162
1 幼児期からはじめる環境教育の推進	162
2 県民に開かれた環境学習の機会の提供と活用	163
3 環境について教えることのできる人材の育成と活用	166
第2節 各主体のネットワークによる環境への取組の推進	169
1 県民・CSOの環境保全活動の推進とネットワーク化の推進	169
2 事業者の自主的活動の推進	171
3 佐賀県の事業者としての環境保全率先行動の推進	175
第7章 環境にやさしい風土を活かした地域づくり	178
第1節 山から平地、まちなか、海までつながるよりよい環境づくり	178
1 自然・環境の保全と再生	178
2 豊かで潤いのある地域づくり	185
第2節 環境負荷低減に向けた生活圏・交通体系づくり	190
1 都市計画区域の指定及び都市計画区域マスタープランの策定	190
2 広域幹線道路ネットワークの整備促進	191
3 身近な交通手段の確保（公共交通機関の利便性向上・地域交通の見直し）	192
4 自転車歩行者道の整備	193
5 環境負荷低減に向けた住環境対策	193
第8章 環境負荷の少ない社会を支えるしくみづくり	195
第1節 環境情報の充実	195
1 化学物質環境実態調査	195
2 日韓海峡沿岸環境技術交流事業	195
3 環境関連情報サイト	197
第2節 危機管理体制の充実	197
1 光化学オキシダント	197
2 微小粒子状物質（PM _{2.5} ）	198
3 異常水質	198
4 地下水汚染	198
第3節 多様な環境保全の手法の活用	199
1 特定工場における公害防止組織の整備	199

2 事業者の環境対策に対する助成	201
3 予防的・予見的手法の推進	201
4 環境問題による被害の救済措置の推進	203

第3部 計画の推進・進行管理

1 環境指標	208
2 環境日誌	210

参考資料

1 佐賀県環境基本条例	211
2 環境関係法律・条令体系図	217